

1
国際
教育

台湾交通大学、パリ第7大学、アルファラビ カザフ国立大学に続き、 アーカンソー州立大学ジョーンズボロ校(米国) とのダブル・ディグリー協定を締結

国立大学初! アメリカの州立大学との学士課程 ダブル・ディグリー・プログラム (2018年5月23日現在)

5月23日(水)、埼玉大学教養学部は米国のアーカンソー州立大学ジョーンズボロ校 (ASUJ) との学士ダブル・ディグリー協定を締結しました。ASUJ とのダブル・ディグリー・プログラム (DDP) は、埼玉大学にとって5つ目の DDP となり、学士課程のプログラムとしては、パリ第7大学に次ぐ2つ目のプログラムとなります。

このプログラムは、教養学部在籍する学生のうち、グローバル・ガバナンス専修課程、現代社会専修課程及びヨーロッパ・アメリカ文化専修課程アメリカ研究専攻に所属する学生を対象に、ASUJ に原則として2年間留学し、それぞれの専修、専攻に関する授業を履修し所定の単位を修得することで、本学においては学士(教養)、ASUJ においては学士(学際)の二つの学位が取得できるものです。なお、DDP に参加する ASUJ の学生は教養学部へ受け入れ、教養学科日本・アジア文化専修課程の所属として同様に2年間の留学生活を送ることになります。



▲ ASUJ のダンフィス学長 (左) と山口学長 (右)
協定締結当日は ASUJ のケリー・ダンフィス学長、ティラ・シヴァクマラン グローバル・イニシアティブ事務局長が埼玉大学を訪れ、山口学長とダンフィス学長が協定書に署名し、今後の学生交流および学術交流の具体的計画について協議が行われました。

埼玉大学のダブル・ディグリー・プログラム

大学名 (国名)	協定締結 学部・研究科	締結日	課程
台湾交通大学理学院 (台湾)	理工学研究科	2014/4/1	博士前期課程
パリ第7大学 (フランス)	経済学部	2015/6/10	学士課程
アルファラビ カザフ国立大学 (カザフスタン)	理工学研究科	2016/7/5	博士前期課程
台湾交通大学理学院 (台湾)	理工学研究科	2016/10/7	博士後期課程
アーカンソー州立大学ジョーンズボロ校 (米国)	教養学部	2018/5/23	学士課程

埼玉大学では、2014年に本学初となるダブル・ディグリー協定(博士前期課程)を台湾交通大学理学院と理工学研究科が締結し、既に1名が本プログラムを修了し、埼玉大学の修士号と台湾交通大学の修士号を取得しました。現在は1名が同大学に留学中です。

2015年には経済学部が本学初となる学士課程のダブル・ディグリー・プログラムをフランスのパリ第7大学と締結し、2017年夏から本学学生1名がパリ第7大学に留学しています。パリ第7大学からは2017年10月から3名を受け入れており、2019年9月まで埼玉大学に滞在する予定です。



1



2

- 1 調印後の記念撮影
- 2 アーカンソー州立大学
ジョーンズボロ校 (米国)

Vol. 16
August
2018

2 国際研究 **〔ベトナム SATREPS 事業〕**
ハノイにてキックオフワークショップ及び
プロジェクトオフィス除幕式を開催
理工学研究科 川本健 教授 共同研究

JST-JICA 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) のプロジェクトオフィスがベトナム国立建設大学 (NUCE) に設置され、その除幕式が4月18日 (水) に開催されました。ベトナムでは近年の急速な経済成長による建設工事増にともなう建設解体廃棄物の発生量が急増しています。特に、ハノイ市やホーチミン市などの大

都市では一日あたりの建廃発生量は 3000 トンを超え、これら建廃の適正管理やリサイクル促進が強く求められています。今回の SATREPS 事業では、NUCE や同国において建廃管理やリサイクルを担当する建設省、ハノイ市建設局などとともに、同国の建廃リサイクル促進と建廃関連の環境問題解決を目指しています。



▲ プロジェクトオフィス除幕式・テープカットの様子 (左より4人目 川本教授)

3 国際 **タマサート大学工学部関係者が来学**
今後の更なる交流を目指して意見交換

4月10日 (火)、タマサート大学 (タイ) の Thira Jearsiripongkul 工学部長らが来学し、山口学長および黒川工学部長を表敬訪問しました。

タマサート大学と本学は、1997年に締結した部局間交流協定 (工学部) を2002年には大学間交流協定に改定し、様々な交流を続けてきました。今回の訪問では学生交流、教育プログラムに関して意見を交わし、更なる交流を継続していくことを確認しました。



山口学長 (中央) と両大学関係者 ▶

4 国際 **学生の安全な海外渡航のために**
海外派遣危機管理オリエンテーションを開催

6月19日 (火)、海外へ渡航する学生を対象とした危機管理オリエンテーションを開催しました。最初に、具体的なトラブルを想定した海外での危機管理について説明があり、その後、本学が利用している危機管理サービス「OSSMA」と学生教育研究災害傷害保険 (学研災) 付帯の海外留学保険について説明がありました。本学では緊急事態発生時に OSSMA で学生の安否確認を行い、医療費や救護者費用は学研災付帯海外留学保険で補償されるシステムになっており、学生が安心して海外渡航できる仕組みを整えています。



オリエンテーションの様子 ▶

5 教育 **平成 30 年度入学式を挙**
学部生 1,646 名 大学院生 666 名が入学

4月4日 (水)、平成30年度入学式が大宮ソニックシティ大ホールで開催され、47名の留学生を含む1,646名の新入生が埼玉大生としての第一歩を踏み出しました。山口学長は式辞で新入生の入学を祝した上で「多様な学問が共存し融合する埼玉大の環境を十分に活用し、自分の専門性をしっかり据えた上で専門以外にも目を配ってください。そして知ること、考えること、見ること、想像すること、疑うこと、判断すること、実行すること、といったワクワクする行為を十二分に楽しんでください」と新入生を激励しました。また、第二部では、埼玉大学フェローの根岸氏による特別講演も実施されました。(News Letter15号参照)



▲ 入学式の様子



▲ 大学院入学式の様子

4月6日 (金)、平成30年度大学院入学式が大会館にて開催され、修士課程・博士前期課程・専門職学位課程 620名、博士後期課程 46名の計666名が大学院へ入学しました。

山口学長は式辞で「大学院での研究は自由度が高く、多様性が許容されます。皆さんには発想を自由に、より高いものを目指して挑戦と失敗を繰り返し、がむしゃらに研究にチャレンジして欲しいと思います」と学生にエールを送りました。

6 教育 **学長より感謝状贈呈**
入学式、卒業式における奏楽・合唱の学生へ

本学の学部卒業式及び学部入学式におけるファンファーレ、奏楽及び大学歌斉唱は、20年以上前から実施され、現在は、教育学部 竹澤教授の指導の下、本学の管弦楽団、吹奏楽部、合唱団の協力により毎年実施しています。この長年の協力に対して、山口学長から4月16日 (月) に代表学生と竹澤教授へ感謝状が贈呈されました。



学生を囲んで記念撮影 ▶ (左: 山口学長・右: 竹澤教授)

学長室を絵画で和やかにしてくれた学生へ

山口学長の「部屋に学生が描いた絵を飾りたい」との想いに、学生が応えてくれました。今回は、本学大学院教育学研究科2年生の真木万由子さんの作品「本番前・舞台上」をお借りすることができ、その厚意に対して、4月25日 (水) に、感謝状が贈呈されました。真木さんは作品について、自身が参加したオーケストラの一場面を描いたことを話され、今後は、修士論文や新しい作品制作に取り組んでいくことを話しました。



作品「本番前・舞台上」の前で記念撮影 ▶ (左から) 吉岡教授、真木さん、山口学長

7 教育 **埼玉を代表する企業の経営陣が直接講義**
埼玉りそな銀行による寄附講義「現代銀行経営論」で公開授業を開催

経済学部では2008年度から毎年、埼玉りそな銀行による寄附講義「現代銀行経営論」を開催しています。11年目となる今年度は講義内容に「業界研究コーナー」が新設され、3名の企業経営を担う方々をお招きし、住まいづくり企業、小売企業、ものづくり企業としての事業や業界の特徴や今後の戦略等についてお話をいただきました。講義後には質疑応答の時間も設けられ、埼玉県を代表する企業の経営陣へ直接質問できる貴重な機会ということもあり、多くの学生から質問が寄せられました。



▲ 6/26 開催
ボラス株式会社 コミュニケーション部 部長 伊藤氏



▲ 6/26 開催
株式会社しまむら 代表取締役会長 野中氏



▲ 7/3 開催
カルソニックカンセイ株式会社 代表取締役会長 森谷氏

日本と世界との結びつきを第一線で担って活躍されている方々からの講義 教養学部 [International Development Policy and Management] の授業から

教養学部では国際社会の第一線で活躍されている方々を講師にお招きし、講義や意見交換を通じてグローバルな問題を理解し、視野を広げ、自分の意見を形成することを目的として、専門科目「International Development Policy and Management」(担当:加藤 コーディネータ)を講義しています。「今なぜ北極か」をテーマに外務省特使 白石氏に講演いただいた第1回目を皮切りに、日本アセスンター観光交流部長、同貿易投資部長、平和外交研究所代表、駐日パキスタン大使、駐日モロッコ大使らから講義をいただき、世界を取り巻く問題や課題等への理解



▲ 満席の教室と外務省特使 白石氏

を深めました。本科目は教養学部のみならず、他学部の学生や留学生も受講しています。また、7月には講義の一環として東京都港区の駐日欧州連合代表部「ヨーロッパ・ハウス」を訪れ、広報部代表の方から EU の歴史や、世界における役割、日本との関係などについて講義をいただくとともに、普段は立ち入れないヨーロッパ・ハウス内部を見学させていただきました。



▲ ディスカッションの様子



▲ 駐日欧州連合代表部「ヨーロッパ・ハウス」での記念撮影

日本数学会 2018 年 JMSJ 論文賞を受賞 研究機構企画推進室 ニール ベズ 准教授

研究機構企画推進室のニール ベズ 准教授が、日本数学会 2018 年 JMSJ 論文賞(受賞題目: On sharp bilinear Strichartz estimates of Ozawa-Tsutsumi type) を受賞しました。この賞は、受賞前年の Journal of the Mathematical Society of Japan に掲載された論文のうち、特に優れたものの著者に授与されるものです。ベズ准教授の今回の研究は、今後も偏微分方程式や調和解析の分野において更なる発展が期待されています。



▲ 表彰状を手にするベズ准教授

平成 30 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞 理工学研究科 吉川洋史 准教授

平成 30 年度文部科学大臣表彰若手科学者賞に大学院理工学研究科 吉川洋史 准教授が選ばれ、4月17日(火)に文部科学省にて表彰式が行われました。本表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者の功績を讃え、科学技術者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的としています。若手科学者賞は 40 歳未満の若手研究者を対象とした賞で、今回は「外部刺激による結晶化および細胞組織化の制御の研究」に関する業績が評価されました。



▲ 表彰状を手にする吉川准教授

埼玉大学の「知」を生かそう! 埼玉大学 研究シーズ集 2018-19 が完成

オープンイノベーションセンターでは、産学官連携活動を積極的に推進するため、埼玉大学の 104 の研究室の研究内容などを 1 冊にまとめた「埼玉大学 研究シーズ集 2018-19」を発行しました。



オープンイノベーションセンターについて

埼玉大学では産学官連携におけるリエゾンオフィスとしての機能をもった組織としてオープンイノベーションセンターを置き、各種分野に精通したコーディネータを配置することで、地域におけるオープンイノベーション推進への貢献を目指しています。

埼玉大学産学官連携協議会 第 19 回定期総会・産学連携事例発表を開催

5月30日(水)、埼玉大学産学官連携協議会は、第19回定期総会を県内企業関係者など 160 名の参加を得て開催しました。

定期総会では、上條会長の挨拶に続いて、関東経済産業局地域経済部 青木次長、埼玉県産業労働部 石川副部長、さいたま市経済局 吉沢局長が祝辞を述べ、続く産学官連携に関する事例発表では、本田コンサルタント事務所代表 本田氏より「伝説の経

営者に学ぶ行動指針」と題した特別講演が行われました。

最後に、堀田副学長より「『彩の国女性研究者ネットワーク』の設立」と題して、女性研究者ネットワークの事業紹介および参画の呼びかけが行われ、盛会のうちに終了しました。



▲ 挨拶する上條会長

秩父地域産学連携セミナーに参加 地域中小企業との連携づくりを目指して

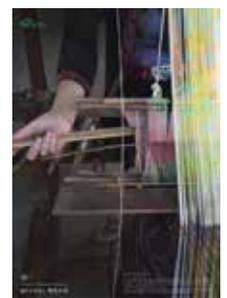
6月15日(金)、秩父地域の中小事業者と埼玉県内の大学との連携づくりを目的に「秩父地域産学連携セミナー」(主催:埼玉県秩父地域振興センター)が埼玉県秩父地方庁舎で開催されました。セミナーには、本学を含む8大学と秩父地域の中小事業者・自治体関係者約 70 名が参加し、秩父地域が抱える人口減少・超少子高齢化から派生する経営課題等について情報・意見交換を行いました。早速自社の開発課題解決で連携したい教員を見つけたと話す企業代表者もあり、有効な出会いの場となりました。

事例報告を行う大久保シニアコーディネータ(中央)▶



カラフルでいこう! JR 大宮駅と埼京線各駅等に大学 PR ポスター(第 8 弾)を掲示

2015 年 6 月から始めた JR 埼京線と埼玉大学のコラボレーションによるポスター広告が、JR 大宮駅など埼京線各駅で掲載されました。JR 東日本大宮支社とは 2015 年 8 月に、埼玉大学周辺地域の魅力づくりや埼京線沿線の活性化、次世代の地域づくりを担う人材育成に向けた包括的連携協定を締結しています。その取り組みの一つとして、地域を盛り上げようと、昨年に引き続き、今年も大宮駅のデジタルサイネージや埼京線各駅でのポスター掲示をしました。

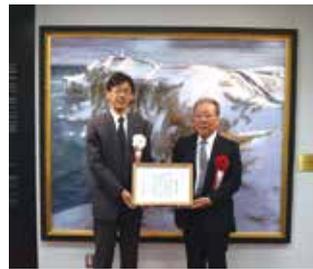


15 同窓生 **日本芸術院賞受賞の洋画家 根岸右司氏（本学卒業生）に埼玉大学フェロー称号授与
同氏から寄贈の絵画除幕式も同時開催**

5月21日(月)、本学は、2017年に冬の北海道の荒れた海と岬を描いた作品「古澤風声」で日本芸術院賞を受賞し、同年に日本芸術院会員に就任した根岸右司氏(1961年教育学部卒)に、卒業生・修生で特に文化や学術の各界で顕著に優れた業績又は功勞を挙げた方に与えられる「埼玉大学フェロー」の称号を贈りました。また、同氏から寄贈された絵画「灯台のある岬」(2011年第43回日展出品作)を本学図書館に展示することを記念して除幕式を行いました。山口学長は「大学として先生のご功績は光栄であり大変うれしく思うとともに、学生にとっての励みになることを祈念したい」と祝辞を述べ、根岸氏は「フェロー称号を授与され、また、絵を図書館に飾っていただ

いたことに感謝申し上げます」と述べた後、「学生のみなさんも苦しいことがあっても希望を持ち続け、埼玉大生として羽ばたいてほしい」と後輩たちにエールを送りました。

フェロー称号記を手にする根岸氏(右)と山口学長(左)



16 同窓生 **初めてきれいな花を咲かせる「ニュートンのリンゴの木」**

リンゴが木から落ちるのを見て「万有引力の法則」を発見したイギリスの物理学者アイザック・ニュートンの生家にあったリンゴの木は、接ぎ木によって1964年、東京大学附属小石川植物園に分譲されました。このリンゴの木は、「科学の心を育てる記念樹」として親しまれており、梶田隆章先生(1981年理学部物理学科卒業)のノーベル物理学賞受賞の記念樹として、小石川植物園より譲り受けたものを2016年4月22日、

本学で開催された「ノーベル物理学賞受賞記念講演会」の際に、学内に梶田先生自らが植樹したものです。植樹から2年経ち、今年初めてきれいな花を咲かせました。



▲「ニュートンのリンゴの木」(4月9日撮影)

17 学生 **埼玉大生が「埼玉わっしょい大使」に任命!
インスタで県の農産物をPR**

6月1日(金)、埼玉県庁にて「埼玉わっしょい大使」任命式が行われ、経済学部の学生9名が「埼玉わっしょい大使」に任命されました。「埼玉わっしょい大使」は、昨年11月に経済学部 今泉講師ゼミの学生が埼玉県の上田知事に政策提言したアイデアが採用されたもので写真共有サイト「Instagram」を使って県産農産物をPRすることを目的に、5名の埼玉大生で始められたものです。半年ほどの運用を経て、今回新たに7大学(埼玉大学を含む)から50名任命され、学生からは「今年は県内7大学から大使が集まったので、埼玉県全体の情報を発信したい」との抱負が述べられました。

埼玉わっしょい大使のメンバー(中央・前後列)と今泉講師(後列:右より2人目)▶



18 学生 **バトントワーリングで世界へ羽ばたく
-バトンサークル 石川萌さん-**

大学院人文社会科学部研究科2年生の石川萌さんが、2018年3月に行われた第43回全日本バトントワーリング選手権大会に出場し、種目「スリーバトン」でグランドチャンピオンになりました。石川さんは2017年大会でもグランドチャンピオンになっており、今回で大会2連覇となります。石川さんは、2017年8月に行われたバトントワーリングの世界選手権に出場し、グランプリ大会 ソロトワール男子アダルト部門3位等の成績を収めており、2018年3月にはその功績をたたえ、埼玉大学学生表彰を受賞しています。

学生表彰式にて山口学長と記念撮影▶



埼玉大学基金室より 埼玉大学基金のご案内

埼玉大学基金は平成25年11月の設立以来、皆さまからのご理解とあたたかきご支援をいただいております。

平成28年には、経済的な理由により修学に困難がある学生に対する支援を行うことを目的とした、特定基金「埼玉大学修学サポート基金」を設立し、右図のとおり構成となっております。

ご寄附の方法として、金融機関からの振込・払込のほか、指定の月に決済が行われる継続寄附も可能なクレジットカード決済をご用意しております。また、不要となった本やDVDをお送りいただくことで、その査定額をご寄附いただける古本募金「きしゃぼん」を導入しております。

詳細は下記ホームページをご覧くださいませよう願いたします。今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

埼玉大学基金室(広報渉外室内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp 🌐http://www.saitama-u.ac.jp/funds/ 古本募金「きしゃぼん」についてはホームページの「お申し込み方法」(http://www.saitama-u.ac.jp/funds/pay/)から「3.古本募金」をご参照ください。

目的1	特定重点事業の推進 埼玉大学インターナショナルレジデンス(国際学生寮)新設事業	埼玉大学創立70周年(平成31年度)記念事業
目的2	埼玉大学の機能強化等将来構想実現に向けた中・長期戦略事業 教育・研究・学生支援、国際交流支援、社会連携支援	
特定基金	埼玉大学修学サポート基金 経済的な理由により修学に困難がある学生に対する支援	

◆埼玉大学基金のご報告

平成30年6月末の状況 **364,916,123円**
うち古本募金「きしゃぼん」によるご寄附 **532,218円**

